


学会成果報告書

学会名	第 10 回日本腎臓リハビリテーション学会		
大会長所属	聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 教授		
大会長氏名	柴垣 有吾		
テーマ	多職種による腎リハで患者に希望と幸せを！		
開催日	2020年2月22日(土)-23日(日)	参加人数	1577 名
場所	ベルサール新宿グランド(東京都新宿区)		
<p>学会サマリー</p> <p>本学術集会は 2020 年 2 月 22・23 日に東京・新宿のベルサール新宿グランドにおいて「多職種による腎リハで患者に希望と幸せを」をメインテーマとして開催された。</p> <p>本集会ではより多くの医師・コメディカルに参加して頂き、その叡智を結集することで、腎臓領域におけるリハビリテーションの普及、職種横断的な学術交流、研究成果の医療者・患者・社会への還元のため、などの役割を担いたいと考え、副会長には聖マリアンナ医科大学の循環器内科教授、整形外科教授、リハビリテーション部主査を迎え、多領域・多職種を標榜するものとした。</p> <p>セッションも 52 を数え（理事長祈念講演 1、特別セッション 1、シンポジウム 9、ジョイントシンポジウム 4、特別企画 5、教育講演 6、よくわかるシリーズ 13、YIA セッション、若手主催ディベートセッション、ランチョンセミナー 12）、内容も基礎、栄養や看護、薬剤など多岐に亘るものであった。節目となる 10 回目の大会として理事長記念講演を行い、一般演題数も 232 題（口演 126、ポスター 106）を集めることが出来た。</p> <p>コロナ禍直前の開催となり、最大限の感染対策を行ったが、参加者が減ることが予想されたにも関わらず、1577 名とこれまでで最多に迫る参加者が来場し、熱いディスカッションを交わすことが出来た。心配された収支もプラスバランスをなんとか得ることとなった。</p>			